

令和4年度 北栄町子ども・子育て支援会議 会議録

日時 令和5年3月24日(金曜日)午後3時30分～午後4時17分
場所 北栄町大栄農村環境改善センター 会議室3

出席者 伊奈公子会長、小田信之副会長、森田秀子委員、石賀嵩明委員、
竹内瑞貴委員、小野塚奈津子委員、金山秀文委員、奥山勲委員(欠席)

事務局 中原教育総務課長、福田子育て支援室長、宍戸主事

(開会)	午後3時30分
会長	本日は事務局からの報告が主なものになると思いますが、皆さんのご意見等頂きながら進行していきたいと思っておりますのでご協力お願いいたします。
事務局	3番の第2期北栄町子ども・子育て支援事業計画、進捗状況について、事務局から説明します。第2期計画、R4実績、量の見込み及び確保の内容と記載されている資料をご覧ください。「量の見込み」は、どのくらい需要があるか、「確保の内容」は、どのくらい供給するかの計画の数値です。第2期計画で設定した目標に対する、令和3年度の実績値と、令和4年度の実績見込みについて、事業ごとに記載しています。(資料にて説明)
会長	先程事務局より資料にてご説明がございましたが、皆さんの方からご質問・ご意見等ございますか。今の説明を聞かせて頂きますと、概ね見込み通りという事でしょうか。
事務局	はい。先程の資料の中でも少し触れましたが、今まではファミリー・サポート・センターの提供会員が少なく、なかなかお願いしたくても受け入れてもらえない状況がありましたが、今年度は提供会員の増加に向けて積極的に声を掛けさせていただいた結果、会員が増えました。更に提供の場も、各々の自宅だと利用される方も抵抗がある様でしたので、場所を公共の場である支援センター、図書館、ほくほくプラザで見えて頂くようにしたことも、今までは不成立だったのが成立への実績増加へと繋がったのではないかと思います。
会長	今の説明ですと、今後ファミサポの利用者が増加したとしても、公共の場所を利用して続けて行けるという事ですか。
事務局	はい。今回提供会員になって頂いた方は、(預かりの場が)自宅ではなく公共の場であればということで引き受けて頂いてますが、今まで登録して下さっていた方で自宅で受けてくださる方はそのまま継続して受けてくださいます。
会長	その他、皆さんの方からご質問、ご意見等ございませんか。
事務局	ここ数年は、コロナ感染症の関係で利用者数が減少傾向でしたが、今年度の実績を見ますと戻りつつあります。また子育て支援センターでも利用者にとくさん来ていただけるように、講座ですとか、参加しやすいように心掛けていますので、感染症も落ち着いてきた事と重なって人数増加に繋がってきているのではないかと考えております。
会長	2の地域子育て支援拠点事業の所で、見込みに対して実績がだいぶ増加しているようですが、その見解として受け入れが出来ているとなっておりますが、これはもっと増えても対応可能なんですか。
事務局	この拠点事業の利用者を県外の方を対象にしたり、町外の方を受け入れるよ

うにするのであれば見込みや内容を見直していかなければなりません、近年の実績からの見込みでいくと対応範囲内でありますし、今後も同じような内容で運営していきますと例年通りの見込みで良いかと思えます。

会長
事務局 利用者が満員という状況が日々継続しているわけでは無いですね。

会長 はい。センター内がぎゅうぎゅうの満員状態という訳ではありません。

事務局 講座も、終了後にアンケートを取っていますが満足度の高い評価を頂いており、また同じ方が別の口座へ参加されるような好循環になっております。

会長 では数字だけを見ると凄く増加したように見えますが、まだまだ対応可能という事なんですね。

事務局 はい。

会長 分かりました。

委員 その他皆さんの方からご質問・ご意見等ございませんか。竹内委員さんどうですか

委員 昨年委員にさせて頂いた時に、ファミサポの提供会員さんの増加について話をさせて頂いたのですが、提供会員さんの増加があったという事ですぐに動いて頂けたのが凄く嬉しく思います。1年間で提供会員さんをこれだけ増やされて、また成果を出されてますので、場所の提供等も含め継続していけたらと思います。また北栄町の大栄庁舎に伺った時に、あんなに玄関入って分かりやすい窓口がある事に驚きました。近隣の市町村を見てもあんなに分かりやすい所にあるのは無いですし、ネウボラの設置にしても利用される方にはとても良いと思っています。

事務局 ありがとうございます。

会長 小野塚委員さんいかがですか。園の実情と合わせてどのように感じていますか。

委員 近年、途中入園で入園できない状況が続いてまして、以上児は年度途中でも受け入れる事が出来ますが、0、1歳児は難しい状況にあります。来年度は職員の確保が何とかかなりでしたが、それでも4月から1歳児30名新規で受け入れるような形になります。

会長 以上児さんは年度途中で受け入れる事は出来るけど、未満児を受け入れるのが難しいというのは都会ではよく聞きますが、この鳥取県の北栄町でもそうなんですか。

事務局 はい。北栄町以外の園を探したとしても、近隣の市町も同じように保育士不足でもあり、また鳥取県だけではなくこれは全国的にも不足している状況です。

会長 理想を言えば預けたいタイミングで入園させたいけど、現実には難しいという事なんですね。

事務局 そうですね。育児休業を取られている方は途中入所に入れなくて延長される方もいらっしゃいますし、その延長の結果、復帰時期を4月にされたり、復帰を早めて4月に入園される方もいらっしゃいますのでどちらにしても新年度は多く入られる傾向があります。

委員 最近の報道で、国は両親の片方でも働いていたら保育園等に入園出来るようにするみたいなことを言ってましたが、実情とは対峙しているんだなと思いました。

事務局 そうですね。やはり両方働いておられる方を優先して困られないようにというのが先ですかね。

会長 石賀委員さんは保護者体表という立場でいらしてますが、何かサービス等ご意見ございますでしょうか。

委員 私自身は利用したことが無いものもありますが、今日事務局のお話を伺って支援が充実しているものの、やはり0、1歳の途中入園に関して難しいとい

	<p>う点では1つ先の現場への何かしらのサポートが必要なのではと感じました。ただ私の子どもは今年度北栄町の通級指導『わくわく』に通わせて頂いて、次年度は小学校へ進学しますので、ことばの教室へ通う事になるのですが、これも園での先生が状況提供をしてくださったり、進学にあたって引継をして頂いてますので、とても感謝しております。</p>
会長	<p>支援が必要な時期は子どもさんによって個体差がありますが、やはりつまづきを感じる前の早期から関わることで格段に伸びる事が出来ますので、出来るだけそうできる環境を整えていけたらと思っております。</p>
委員	<p>園の先生も忙しい合間を縫って通級と一緒に来て学んで頂いたり、園に戻ってからも熱心に保育の中に私の子どもに有効な支援を取り入れて下さったりと、通級にも楽しく通わせて頂きましたし、最初は親でも気づかないような違和感が通級に通ったり園で対応してもらったり家でも取り組んだ結果、成果が表れたのでありがたいなと思っております。</p>
会長	<p>それは園の先生から通級の案内が無ければ知りえなかった事なのでしょうか。</p>
委員	<p>子どもが全然話さなかったらこちらから相談するのでしょうか、滑舌が悪いのかなぁぐらいだとそんなものなのかなと思ってしまうのですが、その点にも注目して声掛けをしてくださることはとても良かったのですが、先生はとても気を遣ってくださって私の方が嫌な思いをしないかなという感じで声掛けをされたので、センシティブな部分ではあるんですが、私個人的には先生はそんなに気にされなくてもいいのではないかなと感じました。</p>
会長 委員	<p>小野塚委員、園側としてはどうですか。 いろんなご家庭がありますので、前向きに捉えて頂けてるのが一番いいですが、保護者さんへ話をさせて頂くときに、まず園では集団生活での困り感を話すのですが、家庭では困っている事が無いとなかなか共通理解を得られないという部分で支援へ繋げるのに時間が掛かってしまう事があります。健診と連携を取りながら、専門家の見解も聞きながら、早期発見に繋げ、早期に専門の方に園も繋がって、訪問指導員の方からの助言を園で行う事で物凄く成長することが出来た事案もありました。助言をもらう事で支援への有効な手立てが分かりますし、対応している職員が抱え込んで悩まなくていいので、適切なアドバイスを常にしてくださいませし、通級で行っている事をそのまま園でも取り入れますので、1年間で見違えるように成長が見られます。早期から環境を整えて対応し、自己肯定感を高める事で、小学校への進学に向かえる事はとても良い事だと感じています。また職員への加配研修等の整備も頂けて、それが実際に園の現場でも活かしているのありがたいです。担任も対応を悩んだり抱え込まなくなったので、クラスが明るくなりました。</p>
会長	<p>こども園からの連携後の小学校での状況を、小田委員さん教えて頂けたらと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>幼児期から早期発見で加配体制が取れていても、小学校だと集団の規模が大きいと、こども園のように1対1のような体制は職員の配置上、細やかな対応は難しいと感じております。町の設置で学習支援員が配置され、助かっている部分はありますが、支援が必要な子どもさんは全体の集団で関わる部分と個別に関わる部分とでバランスが大切になりますので、今の小学校の体制では対応しきれない所があるかもしれません。</p>
会長 事務局	<p>今現在、北栄町で支援が必要な子どもさんへの対策は何かされてますか。 新しい事は特に初めてはおりませんが、最近ようやく幼児の通級が定着してきたかなと思います。ただ先程小田委員が言われた通り、どのように繋げていくかや今通級の定員が各5名としておりますが、少し多いのかなとも感じ</p>

ております。そこも含めて運営していくうえで、今後課題ではあるのかなと思っております。

会長
委員

ありがとうございます。森田委員さんいかがでしょうか。

北栄町は、未就学児の時点で支援センターを利用されているときに、支援員に相談されたりしてそれを園に入園する時に繋げていけている様な話を聞いたことがあって、妊娠時から繋がってサポートしていく体制を取っておられるのはとても良いなと思っております。小学校の事はあまり詳しくは把握しておりませんが、昔よりは支援のクラスも細かく分けて対応されている事も少し聞いたこともあります。

会長
委員

金山委員さん何かございますか。

私の子どもも障がいがありながら大誠こども園でお世話になりました。今日の報告や話を聞いて、選択肢がとても増えたんだと感じました。昔ですと自力で受診する病院を見つけ、その後の対応も親が進んでしないとイケなかったのも、いろんな方面からの声掛けやフォロー体制がある事に嬉しく思います。

会長
委員

北栄町の取り組みが広がっているというお話ですね。その他ございますか。通級の拡大についてなのですが、利用された保護者さんが実体験として、やはり子どもさんの成長を目の当たりにされています。そうすると保護者さんの中で話が広がって、自分の子をと考えられる場合に、定員が設けられているとなると精査しなくてはなりません。せっかく前向きに考えて頂いているご家庭に選考をするようなことを出来ればしたくないので、その部分の検討をお願いしたいです。通級では、ご家庭では困っておられない事も、教室の様子を目の前で見れるので、自分の子の苦手な事がよく分かるんです。それを保育士がどのように対応しているのかも保護者は見ますので、家庭でも対応を取り組みやすく成長に繋がりますし、子ども達も楽しい時間を一緒に過ごせることが嬉しいようで、通級から戻ってくるととても良い顔をしています。それが園での集団生活に繋がっていますので、ぜひ定員の拡大をお願いしたいです。

会長
委員

ニーズは広がりつつあるんですね。

そうですね。保育士の目もスキルアップしていて、今までは普通の会話の中でやり取りが難しいかなあ、独特の表現、解釈してるなあっていうのに気づくと、健診等で、今までは大丈夫かなというお子さんでも、解釈の違いだったり、特性っぽい所を見つけやすくなって、それが保護者さんと共通理解が出来ると、その子どもさんのより良い支援に繋げていくことが出来るので、いいのかなというのと、発達検査もして頂けるので、より個別の強みと弱い部分が分かるので、親御さんも間違っただけの叱り方をしなくなるんですね。無理強いをしなくなって、適切な言葉かけをされるようになるので、本当に子ども達は自己肯定感が下がらずに成長できるので、出来る範囲があるとは思いますが是非ご検討を頂けると嬉しいです。

会長
事務局

今、年中・年長各5名という事ですが、見通しはどんな感じですか。

そうですね。やはり一番の課題は人員的体制です。ただそこにニーズがあるのであれば、それに向けてどうしていくべきなのかを考えていく必要はありますので、今の段階でお約束できるような発言は出来ませんが、考えていきたいと思えます。少しお話を付け加えるとすれば、個別に支援が必要なお子さんに園で保育者が関わるのも大切ですが、大きな課題としてありますのが、やはり一番は保護者の方の理解が必要だろうと思っております。話を進めていく上でネガティブに捉えられる方もいらっしゃいます。子どもさんの為に前向きに捉えて頂ける方もあれば、家庭での困り感が無いために、やはりまだ一定数受け止められなかったり、理解が無いとなると話が進まないという

事がありますので、通級が前向きに捉えて頂けるようなきっかけになっている場になっているのであれば、町としても有効な方法だと考えていくべきだと思います。

委員

医療専門機関に行く事って、親御さんにとって、とてもハードルが高い事なんですよね。何か診断が付いていしまうのではないかという怖さがある。私達園の保育者も、そこまで踏み込んで伝える事は躊躇してしまいます。そこで通級というのは、保護者さんにとっては一つハードルが下がる場であるので、現場からしたらありがたいと思っております。

委員

小学校側からの連携の部分の話ですが、小学校での通級の人数の枠組みは違ってきます。小学校は他の学校から通って来られるような環境があるので、このコロナ感染症の関係で、近年は保護者の方にきちんと案内できてない部分で対応出来ていますが、今後案内が正しく出来て、ニーズが高まればキャパオーバーすることも考えられますし、また前にあったのは、ことばの教室に通わせたら読解力が付くと勘違いされている保護者の方もいらっしゃったので、そうならないように説明していく必要もあると思っております。

会長

その他よろしいですか。(なし)

4 その他(なし)

5 閉会

午後4時17分